

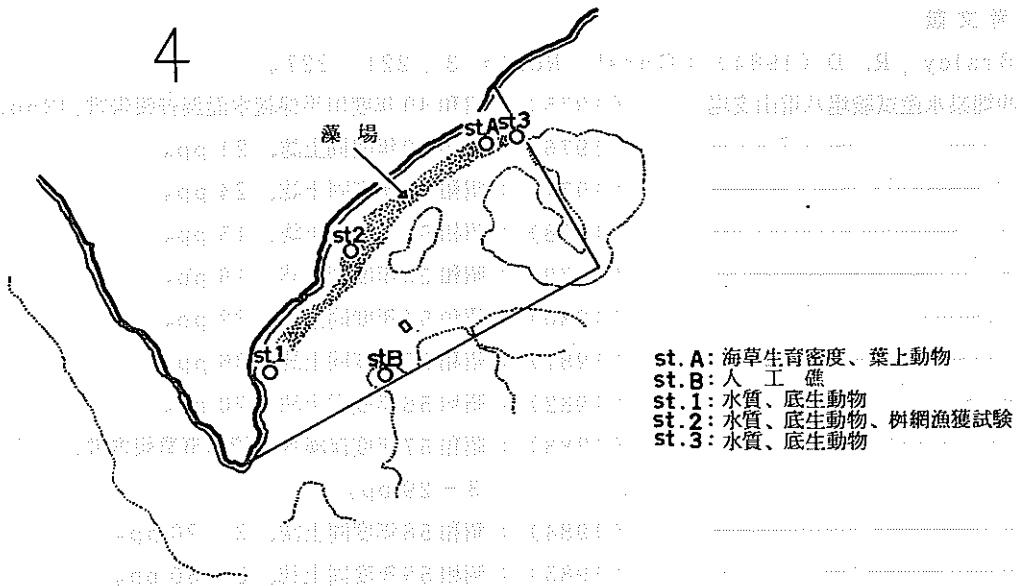
### Ⅲ 名蔵湾保護水面（藻場）

調査担当者 杉山昭博

水産動植物の繁殖保護育成のため海草藻場を保全し植物の繁茂、底生動物と葉上動物の分布、アイゴ類幼魚の藻場における成長、保護水面内での樹網による漁獲試験、周辺海域での定置網による漁獲量、既設人工礁の魚類等の蛸集状況および水質の各調査を実施して藻場における生態的メカニズムを把握することに努めた。

なお、各種調査において助力いただいた非常勤職員の斉藤賢治氏、漁獲量調査に協力していただいた現水産業改良普及所職員与那嶺盛次氏と八重山支庁新里勝也氏に深謝いたします。

各調査地点は図1に示すとおりである。



#### 1. 植物調査

1985年4月8日から1986年2月12日までのほぼ月1回、定点（図1）においてリュウキュウアマモ、リュウキュウスガモおよび柀内全海草の株数を調査して季節変化を調べた。測定方法は前報と同様である（沖水試、1983）。

結果は表1と図2に示すとおりで、リュウキュウアマモは周年にわたり100株/㎡以下で推移した。またリュウキュウスガモは8月から1986年1月にかけて500株/㎡以上繁茂し、冬季は減少傾向がみられる。なお、柀内の海草の総株数を8月から調査したが、8月から冬季にかけて減少傾向がみられる。

表1 保護水面内定点における海草株数の季節的变化 (株/㎡)

方形枠 No.	リュウキュウアマモ				リュウキュウスガモ					総株数			
	1	2	3	ave.(a)	1	2	3	ave(b)	a+b	1	2	3	ave.
1985. 4. 8.	0	0	32	11	176	432	304	304	315	-	-	-	-
5. 7.	0	0	32	11	160	416	224	267	278	-	-	-	-
6. 3.	0	0	16	5	112	496	416	341	346	-	-	-	-
7. 2.	0	0	16	5	192	816	416	475	480	-	-	-	-
8. 1.	48	0	80	43	448	1152	1040	880	923	2672	3008	2384	2688
8.21.	0	16	96	37	544	944	624	704	741	2416	2000	2048	2155
11.11.	0	16	80	32	448	912	640	667	699	1824	2304	1808	1979
11.26.	0	16	96	37	976	1376	960	1104	1141	-	-	-	-
12.10.	0	16	80	32	624	1120	704	816	848	2176	2080	1520	1925
1986. 1.11.	0	0	80	27	432	624	464	507	534	1632	1600	1424	1552
2.12.	0	0	48	16	448	544	144	379	395	1408	1392	1376	1392

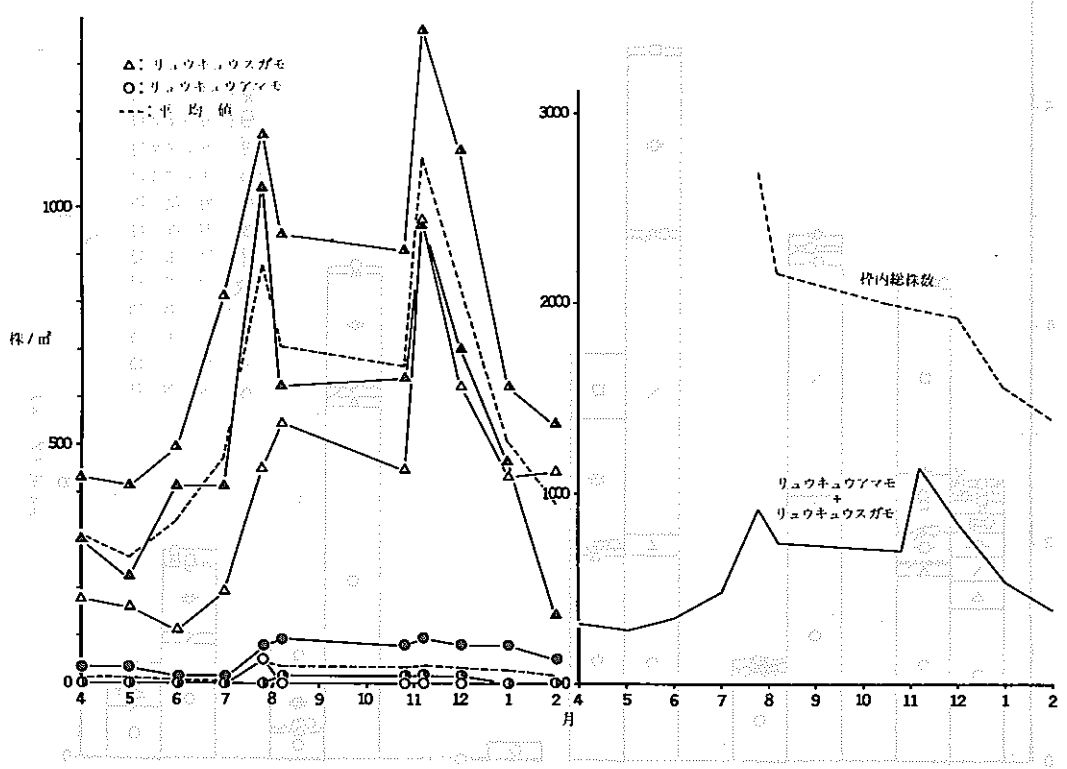


図2 海草株数の季節的变化